

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 3 区分

【発行日】平成 18 年 6 月 15 日 (2006.6.15)

【公開番号】特開 2004-2841 (P2004-2841A)

【公開日】平成 16 年 1 月 8 日 (2004.1.8)

【年通号数】公開・登録公報 2004-001

【出願番号】特願 2003-120298 (P2003-120298)

【国際特許分類】

**C 0 8 J 5/22 (2006.01)**

**C 0 8 F 16/12 (2006.01)**

**C 0 8 G 85/00 (2006.01)**

**H 0 1 M 6/18 (2006.01)**

**H 0 1 M 10/40 (2006.01)**

**C 0 8 L 101/00 (2006.01)**

【F I】

C 0 8 J 5/22 1 0 1

C 0 8 J 5/22 C F H

C 0 8 F 16/12

C 0 8 G 85/00

H 0 1 M 6/18 E

H 0 1 M 10/40 B

C 0 8 L 101:00

【手続補正書】

【提出日】平成 18 年 4 月 19 日 (2006.4.19)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

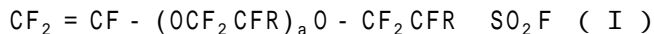
【補正対象項目名】請求項 4

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 4】

イオノマー性膜を作るのに使用されるポリマーが、式：



(式中、R と R は、独立して：F、C<sub>1</sub>、C<sub>1</sub> ~ C<sub>3</sub> のペルフルオロアルキルであり；a は 0 または 1 である)

を有するフルオロスルホン基含有のフルオロオレフィンと、1 以上のフルオロ化オレフィンモノマーと、任意に非フルオロ化オレフィンモノマーとのコポリマーである、請求項 1 ~ 3 のいずれか一つに記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 6】

フルオロ化オレフィンモノマーが、次の：

- 好ましくは、次の：テトラフルオロエチレン (TFE)、ヘキサフルオロプロペン (HFP)、から選択される C<sub>2</sub> ~ C<sub>8</sub> (ペル) フルオロオレフィン；
- 次の：弗化ビニル (VF)、弗化ビニリデン (VDF)、トリフルオロエチレン、ヘキサフルオロイソブテン、CH<sub>2</sub> = CH - R<sub>f</sub> ペルフルオロアルキルエチレン (ここで、R<sub>f</sub> は C

$C_1 \sim C_6$  ペルフルオロアルキルである) から選択される、 $C_2 \sim C_8$  水素化フルオロオレフィン;

- $C_2 \sim C_8$  クロロ及び/又はブロモ及び/又はヨード - フルオロオレフィン、好ましくはクロロトリフルオロエチレン (CTFE) またはブロモトリフルオロエチレン;

- $CF_2 = CFOR_f$  (ペル) フルオロアルキルビニルエーテル (PAVE)、(ここで、 $R_f$  は  $C_1 \sim C_6$  (ペル) フルオロアルキル、好ましくはトリフルオロメチル、プロモジフルオロメチル又はヘプタフルオロプロピルである);

- $CF_2 = CF_2OX$  (ペル) フルオロ - オキシアルキルビニルエーテル (ここで、 $X$  は  $C_1 \sim C_{12}$  アルキル、 $C_1 \sim C_{12}$  オキシアルキル、1 以上のエーテル基を有する  $C_1 \sim C_{12}$  (ペル) フルオロ - オキシアルキル、好ましくはペルフルオロ - 2 - プロポキシ - プロピルから選択される);

から選択される請求項 4 または 5 に記載の方法。